

## 【資料2】平成30年度安心して暮らせる地域公共交通確保事業アンケートについて

平成28年5月に策定した「広陵町地域公共交通網形成計画」に基づき、広陵元気号の本格運行を開始しており、同計画において平成30年度に本格運行の効果検証を行うこととしており、本事業は、効果検証のため公共交通のニーズ調査を行い、運行の効率化や改善策の検討を行うもの

### 住民アンケート調査

- ・ 住民の移動実態、公共交通利用状況と利用意向、費用負担の考え方等を把握し、潜在需要の把握、公共交通ネットワークの改善につなげるため、住民アンケート調査を実施する。
- ・ 配布数は、15歳以上（中学生を含む。）の住民2,000人（無作為抽出）とする。
- ・ 受託者がアンケート調査票の作成、配布、回収、集計及び分析を行う。

### 広陵元気号利用者アンケート調査

- ・ 広陵元気号の利用状況（目的、行き先、利用頻度等）、運行評価、改善要望等を把握し、運行の効率化や改善につなげるため、広陵元気号の利用者に対して広陵元気号利用者アンケート調査を実施する。
- ・ アンケート票の配布及び回収は、町が行う。
- ・ 受託者がアンケート調査票の作成、集計及び分析を行う。

# 資料2-1 住民アンケート調査概要

## 1 回答者本人について

回答者の基本情報を得るために質問以降の質問から得られるニーズと照らしあわせるための必要項目

## 2 普段の移動について

町内、町外の移動実態を質問し、目的地や移動手段を把握することにより、回答者の日常的な移動状況を把握する。

## 3 鉄道の利用状況について

鉄道の利用状況について質問し、鉄道の利用の有無並びに主な利用駅や利用駅までの移動手段及び利用頻度、各地域における鉄道への接続状況が把握する。

# 資料2-1 住民アンケート調査概要

## 4 路線バスの利用状況について

路線(奈良交通)バスの利用状況について質問し、利用の有無、利用頻度、目的、満足度、不満項目を把握することにより、路線バスの課題を把握するとともに、不満点については、不満項目が解消された場合に、利用の変化が生じるかを問い、その不満を解決することが適策か否かについて検討することができる。

## 5 広陵元気号の利用状況について

広陵元気号の利用状況について質問し、利用の有無、利用頻度、目的、満足度、不満点を把握することにより、広陵元気号の課題を把握するとともに、不満点については、不満項目が解消された場合に、利用の変化が生じるかを問い、その不満を解決することが適策か否かについて検討することができる。

# 資料2-1 住民アンケート調査概要

## 6 今後の公共交通について

現在の運行にかかる費用負担額を示した上で、広陵元気号への今後の運行についての意見を収集するとともに、町の施策展開(スマートウェルネス)についても触れ、バス停留所までの適正な距離を把握する。

## 7 デマンド交通について

デマンド交通(予約型乗合バス・タクシー)にかかるおおよその経費を記載した上で、利用の希望について質問し、デマンド交通の需要を把握し、需要の内容が広陵元気号の運行改善によって解決されるものかを把握するための検討材料とする。

## 資料2-2 広陵元気号利用者アンケート調査概要

### 1 回答者本人について

回答者の基本情報を得るために質問以降の質問から得られるニーズと照らしあわせるための必要項目

### 2 広陵元気号の利用状況について

広陵元気号の利用状況について質問し、利用の有無、利用頻度、目的、満足度、不満点を把握することにより、広陵元気号の課題を把握するとともに、不満点については、不満項目が解消された場合に、利用の変化が生じるかを問い、その不満を解決することが適策か否かについて検討することができる。

### 3 その他

その他の意見を求める。